

# 資料4

がん相談支援・情報センター

## 退院調整連携パス

患者名:

主治医:

受け持ちナース:

リンクナース:

がん相談支援・情報センター担当:

### <退院調整パス、バリエーションのとりえ方>

- ・フェーズ終了時に次フェーズの達成期日を設定
- ・設定日までに、フェーズ内の内容を達成できない場合をバリエーションとし、その理由を「バリエーション内容」欄に記載すること。
- ・パスの終了は、患者の死亡時・死を目前にして病院死を希望した場合。
- ・状態の変化等、パスの休止・再開の場合には新たに達成期日をたて、バリエーション内容に詳細を記載。

<b>フェーズ1</b> 患者アウトカム 医療者アウトカム	・退院調整介入の必要性についてスクリーニングできる。	達成期日 /	バリエーション内容 入院日が入ります
-------------------------------------	----------------------------	-----------	-----------------------

<b>フェーズ2:退院調整に関する情報収集</b> 患者アウトカム 医療者アウトカム	・退院について考えることができる。 ・治療方針決定時までに、退院後の生活の視点で情報を整理しアセスメントすることができる。	達成期日	バリエーション内容
--	--	------	-----------

<b>フェーズ3:カンファレンス、退院調整開始</b> 患者アウトカム 医療者アウトカム	・入院の目的を理解し退院の目標を共有する。 ・患者への治療方針・ICUまでの目標に基づき必要となる退院調整計画を策定し、医療者間での意思統一を行う。		
--	---	--	--

以後の達成日は、  
 患者の状態や状況により  
 プライマリーナースまたは  
 リンクナースが設定してください。

各フェーズの記載日 ≥ 達成期日 = 負のバリエーションとなり、  
 記載日 ≤ 達成期日 = 正のバリエーションとなります。

<b>フェーズ4:(合同)カンファレンス</b> 患者アウトカム 医療者アウトカム	・退院後の生活に対する希望や要望を話すことができる。 ・患者の退院後の生活に対する希望や要望に沿って、医療者間での意思統一を行なう。	達成期日 /	バリエーション内容
---	---	-----------	-----------

<b>フェーズ5 :退院時</b> 患者アウトカム 医療者アウトカム	・退院への気持ち、退院先の環境が整う。 ・退院後の生活のための、人・物の準備を整える。		
--	--	--	--

<b>フェーズ6 :退院後</b> 患者アウトカム 医療者アウトカム	・不安や苦痛なく「 」での生活をすごすことができる。 ・緊急時の連絡先を知っている。 ・心身ともに安定した状態を維持できる。	達成期日 /	バリエーション内容
--	---	-----------	-----------

達成期日が「事情により変更」になる場合をバリエーションとします。  
 状態の変化等、パスの休止・再開の場合には、新たに達成期日をたてバリエーション内容に詳細を記載  
 バリエーションコード票に従い  
 項目と詳細内容を明記してください。

# 資料4

がん相談支援・情報センター

## 退院調整連携パス

ID: \_\_\_\_\_

主治医: \_\_\_\_\_

受け持ち: \_\_\_\_\_

センター担当: \_\_\_\_\_

介護保険の項目にチェックが入った場合は、保険証の中の「居宅介護保険事業者(ケアマネージャー)」を確認し、フェーズ2の『環境・家族』の欄に記載する。

- 介護保険、介護度( )
- 身体障害者手帳( )
- 老人手帳 入院時、担当NSが確認
- 生活保護・医療保険

### 入院時初期アセスメントシート

入院日に記載

<病名>		フェーズ1: 初期アセスメント				記載日 /
<入院の目的>		フェーズ担当者( )				
手術	化学療法	症状コントロール	患者アウトカム			
その他( )		スタッフアウトカム	退院調整介入の必要性についてスクリーニングできる。			

身体 の 状 況	PS	1 2 3 4				
		<input type="checkbox"/>	清潔ケア	自立	要介助	
<input type="checkbox"/>	栄養・食事ケア	経口	経口以外	IVH	経管栄養	その他( )
<input type="checkbox"/>	排泄ケア	自立	要介助	PTイレ	オムツ	カテーテル  その他( )
<input type="checkbox"/>	移動ケア	自立	要介助	車椅子	ベット	失禁 腎カテ ストーマ ⇒WOC認定NS <sup>注)</sup>
		歩行の状況→	杖歩行	つたい歩き	歩行器	
<input type="checkbox"/>	苦痛の予防・軽減ケア	疼痛なし	疼痛あり	⇒がん性疼痛看護認定NS <sup>注)</sup>		
<input type="checkbox"/>	オピオイドの使用	なし	あり	⇒WOC認定NS <sup>注)</sup>		
<input type="checkbox"/>	呼吸ケア	気管口なし	気管口あり			
		在宅酸素なし	在宅酸素あり			
<input type="checkbox"/>	循環ケア	リンパ浮腫なし	リンパ浮腫あり	⇒リンパドレナージセラピスト <sup>注)</sup>		
<input type="checkbox"/>		なし	あり	⇒WOC認定NS <sup>注)</sup>		

・全入院患者に使用。  
 ・「要介入」の可能性をピックアップするためのシート。  
 ・明らかに介入の必要がない患者の場合は、エンボスとリンクナースの確認印で介入不要の連絡とする

・初期アセスメントのみ、各エキスパートへの連絡は支援センターを通して。  
 ・支援センター内に[連絡用BOX]を設置。  
 ・エキスパートはそこから必要な情報を収集する。

★入院全患者に使用する

★点線より右の項目に○チェックがある場合、ケアアセスメントシートを使用。

★リンクナースの確認印を受けた後がん相談支援・情報センター回収ファイルに入れる。(金口回収)

注) がん相談支援・情報センターが各エキスパートに情報提供をス行う項目

リンクナース 確認印(リンクナース不在時は師長または副師長印) ( )

2006/10/02 四国 がんセンター がん相談支援・情報センター 作成





記載日 月 日 \_\_\_\_\_ さま

# 地域連携退院共同指導書

患者さま控・事務控④・医事控え

資料4

フェーズ4:(合同)カンファレンス

フェーズ担当者 ( )

患者アウトカム

退院後の生活に対する希望や要望を話すこと

スタッフアウトカム

患者の退院後の生活に対する希望や要望に沿って、医療者

項目の記載をしたら、必要枚数をコピーしそれぞれに保管のこと。

合同カンファレンス前評価      現在までの進捗状況      カンファレンスでの検討事項

調整内容	清潔ケア	<p>公文書としての取り扱い          地域連携退院共同計画書として診療録管理委員会に申請予定。          現状の対応として、在宅療養支援診療所の医師がカンファレンスに参加する場合、診療報酬が発生するため          →従来の「地域連携退院共同計画書」に ”別紙参照”と記載し、カンファレンスの内容をまとめたフェーズ4を添付。          在宅療養支援診療所の医師がカンファレンスに参加しない場合、→カンファレンスの内容をまとめたフェーズ4のみを使用。</p>
	栄養・食事ケア	
	排泄ケア	
	移動ケア	
	苦痛の予防・軽減ケア	
	呼吸ケア	
	循環ケア	
	褥そう	
	経済面に関する資源の利用	
	連携さき	

・他施設との合同カンファレンス開催に当たり、現在の状況を記載。(フェーズ3での病棟カンファレンスを受けて、決定した事項・方向性について記入する。)  
・フェーズ3以後、内容に変更があった場合、詳細は従来の記録用紙に残す。

・カンファレンス中に変更のあった事項、追加のあった事項について記載する。  
・記載者は、原則受け持ちNS、またはリンクNS。

在宅診療所、医師サインが入った場合はコストが発生。医事課に控えを回すこと。

連携さき	参加者(医療者)は署名(押印)のこと	患者さま
	カンファレンス参加者	ご家族

注)かかりつけ医が、在宅療養支援診療所の場 リンクナース確認印(リンクナース不在時は師長または副師長印) ( )  
合は右へチェックマークを入れる。(□) 2006/10/02 四国 がんセンター がん相談支援・情報センター 作

主治医: \_\_\_\_\_

リンクナース: \_\_\_\_\_

受け持ちナース: \_\_\_\_\_

がん相談支援・情報センター担当: \_\_\_\_\_

フェーズ5 :退院時

フェーズ6 :退院後

フェーズ担当者

( )

( )

患者アウトカム

退院への気持ち、退院先の環境が整う。

・不安や苦痛なく「 \_\_\_\_\_ 」での生活をすごすことができる  
 ・緊急時の連絡先を知っている

スタッフアウトカム

退院後の生活のための、人・物の準備を整える。

心身ともに安定した状態を維持できる。

最終確認事項(カンファレンス後の決定事項)

連携さき、 \_\_\_\_\_ での具体的介入

別紙ケア介入一覧 看護情報提供書を参照

清潔ケア

栄養・食事ケア

排泄ケア

移動ケア

調整内容

苦痛の予防・軽減ケア

呼吸ケア

循環ケア

褥そう

経済面に関する資源の利用

サポート体制

・合同カンファレンスでの、決定、同意事項を記載。  
 ・院内での最終決定事項を記載する。  
 例) 清拭 毎日  
       入浴 週2回  
 (具体的内容についてはフェーズ6に記載)

・カンファレンス後、転移先、訪問看護ステーションなどでの処置・介入方法について記載。

・居住環境や施設により、継続処置や介入でも相違が発生する場合などに追記。  
 (連携先に記載してもらっても可?)

例) 清拭 毎日 14時、訪問時  
       入浴 週2回 デイサービス使用  
           送迎依頼

・お困りの時は、まず \_\_\_\_\_ にご相談ください。

・四国がんセンターへのお問い合わせは、がん相談支援・情報センター089-999-1114まで。

# 退院調整連携パス運用のために<sup>資料4</sup> 入院診療計画書に項目追加

## 入院診療計画書 (患者さま用)

(患者氏名)

殿

平成 年 月 日

病棟 (病室)	階	病棟	病室
病名 (他に考え得る病名)			
症状			
入院の目的			
退院の目標			
推定とれる入院期間			
治療計画			
検査内容及び日程			
手術内容及び日程			
看護計画等			
担当看護師等氏名			

**退院の目標**  
主治医にも、入院時に「何が達成できたら退院できるか」という視点が持てるように工夫。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後、検査等を進めていくにしたがって変わり得るものであります

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものであります。

独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター

(主治医氏名)

印

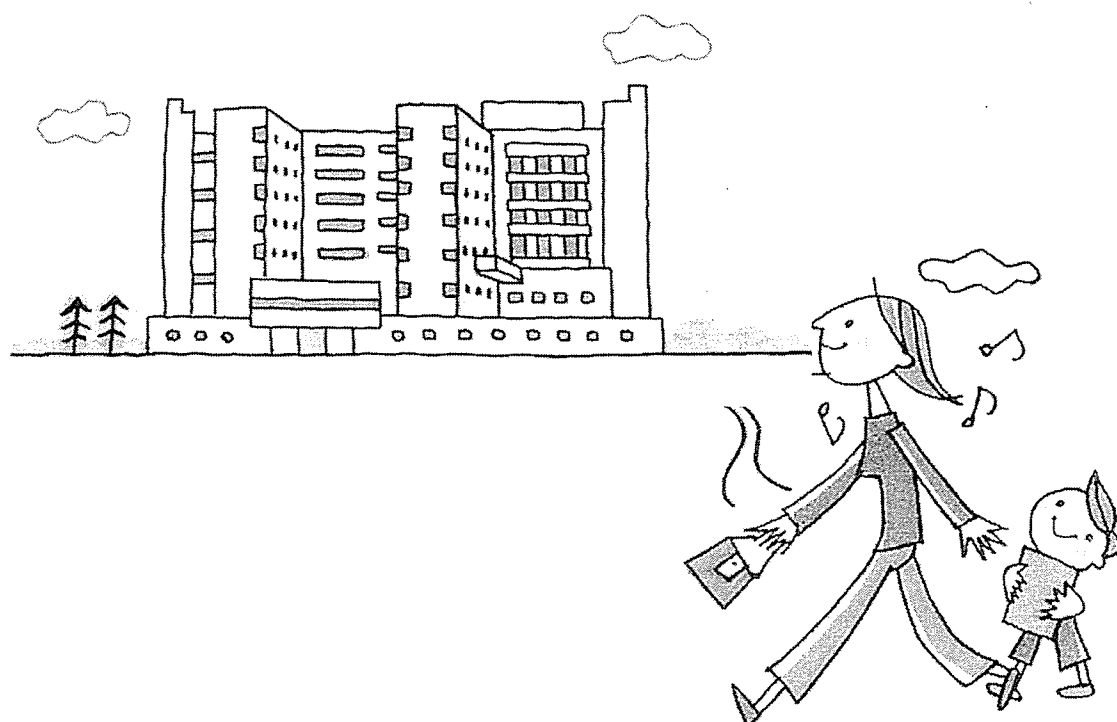
(氏名)

(科)

2006.10 3,000

# 四国がんセンター

## がん相談支援・情報センター 活動概況 資料





### 1. 目的

がん相談支援・情報センター（以下支援センターとする）は、がん患者・家族および医療関係者に対する相談支援事業および情報提供事業を行う。

### 2. 活動内容

#### 1) 医療相談、よろず相談

相談方法は支援センター窓口への来訪による対面相談および電話相談とする。対象は、当センターの患者・家族のみならず、広く一般とする。

#### 2) 退院調整

退院調整とは、他院への転院の手配あるいは在宅療養に際してかかりつけ医、訪問看護・介護等の院外の在宅療養資源および、NST、緩和ケアチーム、各エキスパートナース等の院内のサポート資源へ連携することを指す。支援センターは、全入院患者に対し、入院後早期に退院調整介入の必要性について病棟看護師と協同しながらアセスメントを行い、その結果に基づき介入を行う。

#### 3) 在宅療養支援

在宅療養支援とは、当院への入院経験の有無にかかわらず当院外来通院中の患者に対する支援を指す。外来通院中の患者に対する電話相談支援の窓口は、支援センターに一本化する。したがって、外来へのパンフレット配布および退院時には必ず支援センターの連絡先を患者・家族に伝える。相談の内容によっては、支援センターから医師、担当病棟、各エキスパートナース等へ連携する。また外来通院中に介護保険や訪問看護等の在宅療養資源の調整が必要になった場合に支援する。相談方法は、患者・家族からの直接相談、外来主治医からの依頼等である。

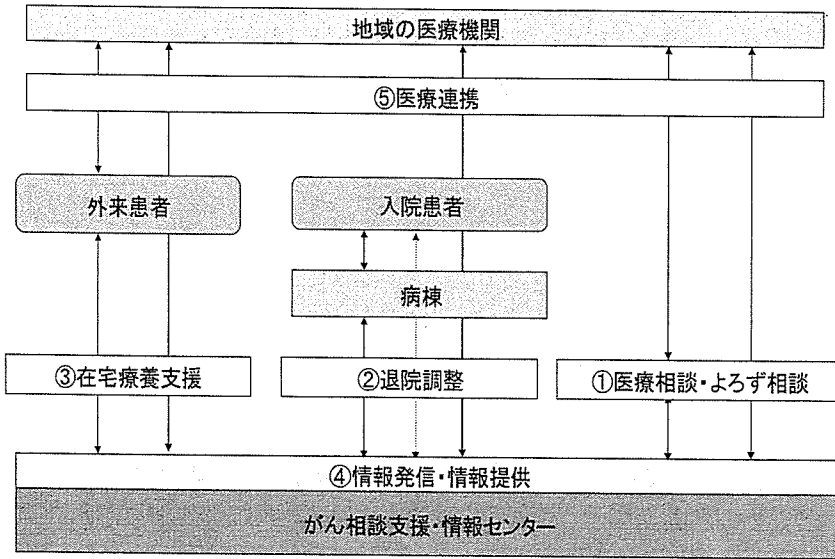
#### 4) 情報発信・情報提供

当院におけるがん患者数、治療症例数（手術・化療・放治）についての情報公開を行う。支援センターが実施した相談、対応についてデータベース化し、常時患者・家族が自由に閲覧できるPCを設置し一般に公開する。また、外来患者に対して入院決定時に治療についてのパンフレットやクリニカルパスを用いた情報提供を行う。

#### 5) 医療連携

これまで医療連携室が対応してきたセカンドオピニオン、FAX 紹介相談・対応の業務を支援センター業務とする。また、地域医療連携の充実を図るために地域の医療機関や訪問看護ステーションとの勉強会や見学会等の相互交流の企画立案を行う。

# がん相談支援・情報センター体制

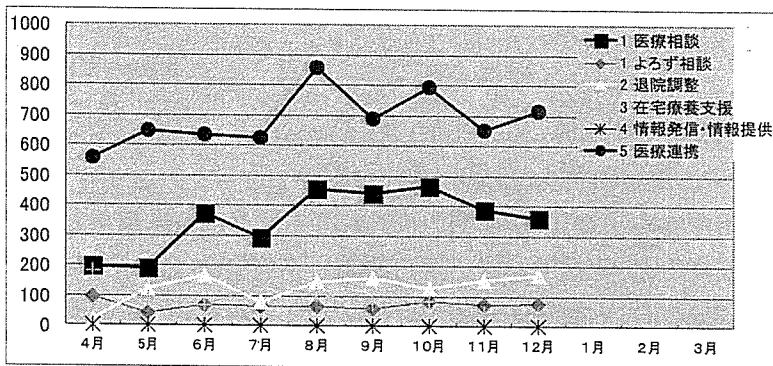


- 業務
- ①医療相談・よろず相談
  - ②退院調整
  - ③在宅療養支援
  - ④情報発信・情報提供
  - ⑤医療連携

体制

- がん看護専門看護師 1名 (専任)
- 看護師 2名
- 医療相談員 1名 (専任)
- 臨床心理士 1名 (専任)
- 事務員 2名 (専任)

## 実績概要



1月31日現在

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	12月平均/日	合計	
1	医療相談	電話	136	322	377	408	374	414	333	306	274		15	2944	
		対面	53	52	58	47	67	52	52	53	70			2.7	504
1	よろず相談	電話	11	8	10	6	9	6	2	9	3		0.5	64	
		対面	31	60	56	60	47	77	69	65	64			3.3	529
2	退院調整	相談支援センター紹介	29	17	22	23	15	13	20	21	7		1.1	167	
		新規実施	25	27	22	20	24	19	32	37	24			1.9	230
		継続実施	68	110	101	103	117	90	94	104	72			5.2	859
		他施設との合同カンファレンス	0	12	3	1	4	2	5	8	1			0.4	36
3	在宅療養支援	新規実施	8	3	11	8	5	5	3	2	11			0.1	56
		継続実施	39	47	49	70	46	48	24	34	33			1.7	390
		電話訪問	38	18	25	25	23	30	16	7	9			0.4	191
		入院調整	4	0	1	3	1	0	0	2	2			0.1	13
4	情報発信・情報提供	入院治療バスの説明新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
		入院治療バスの説明継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
		セカンドオピニオン申し込み	32	29	31	37	27	36	24	26	39			1.3	281
5	医療連携	セカンドオピニオン実施	36	30	30	36	30	27	22	25	33			1.3	269
		FAX紹介	277	309	312	347	332	353	311	308	305			15	2854
		直接の紹介状処理	95	115	94	190	115	130	120	90	52			4.5	1001
		転入調整	8	7	8	7	6	4	3	4	3			0.2	50
		逆紹介	20	29	38	58	43	55	46	64	49			3.2	402
		他施設からの問い合わせ対	178	116	111	184	134	188	125	199	176			10	1411

# パンフレット

心配や悩み、不安を解消したい！  
「がん相談支援・情報センター」に  
どんなことでも  
気軽に相談しましょ！



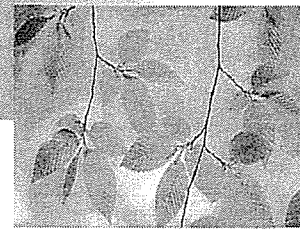
がん患者様とご家族は様々な悩みや心配事をかかえていらっしゃると思います。四国がんセンターでは、がん患者様とご家族のあらゆる悩みや心配事等に対応するために「がん相談支援・情報センター」を設置しています。

専任の看護師や医療ソーシャルワーカーが皆様のお話を伺い、問題解決のお手伝いをさせていただきます。どうぞお気軽にご相談ください。

- 受付時間 8:30～16:30 (土日・祝日を除く)
- 場所 2階・がん相談支援・情報センター
- 対面相談 面談室での相談
- 電話相談 089-999-1114 (直通ダイヤル)

独立行政法人 国立病院機構  
四国がんセンター  
がん相談支援・情報センター  
〒791-0288  
愛媛県松山市南梅本町甲160  
TEL.089-999-1114  
FAX.089-999-1115

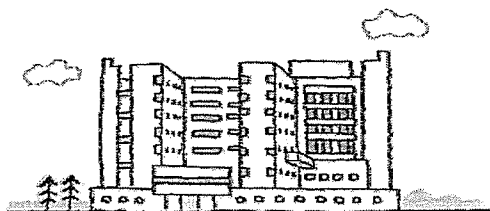
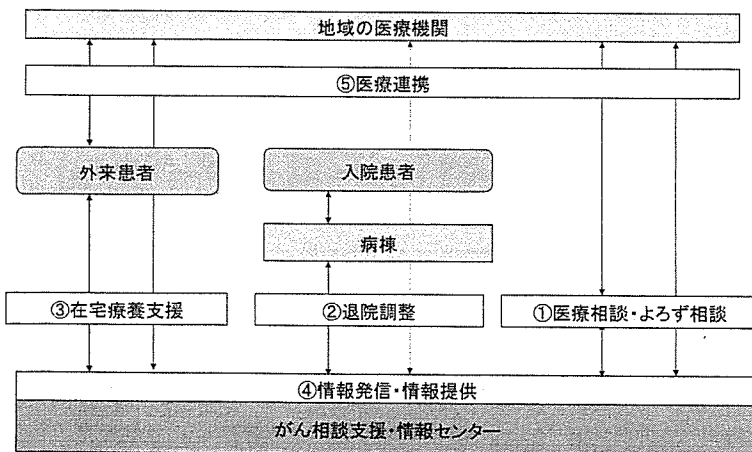
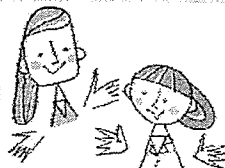
## がん相談支援・情報センター



独立行政法人 国立病院機構  
四国がんセンター



## がん相談支援・情報センターの役割



### ①医療相談・よろず相談

診断や治療などの医療相談、医療費、福祉、介護サービスなどのよろず相談について、広く一般の方からご相談いただけます。「痛みが強くてどうしよう」「訪問看護を受けたいけどどうしたらいいの」等、お困りのことがあればお気軽にご相談ください。

### ②退院調整

病棟の医師や看護師と協同し、自宅や地域の医療機関(かかりつけ医、訪問看護等)へ移行した場合に不安が生じないように調整します。

### ③在宅療養支援

外来通院中・在宅療養中の患者さま・ご家族の方が安心して必要な医療を継続できるように支援します。

### ④情報発信・情報提供

患者さま、ご家族に対する医療情報の提供、地域医療機関との勉強会の開催など、がん医療に関する情報発信・情報提供を行います。「こんな会を企画してほしい」などご要望がありましたらお知らせください。

### ⑤医療連携

かかりつけ医・かかりつけ医療機関との円滑な連携を図り、当院への紹介や他院への紹介の手配、セカンドオピニオンのご相談・申し込みに対応をいたします。

# がん相談支援・情報センター 資料5

「がん医療について知りたい」「近くの病院を探したい」「退院後の生活が不安」「治療費が高額で困っている」「とにかく話を聞いて欲しい」等々、がん患者様とご家族様は様々な悩みや心配事をおかかえていらっしゃると思います。

四国がんセンターでは、早期退院・在宅療養中の支援、地域医療機関への連携、がん患者様とご家族のあらゆる悩みや心配事等に対応するため、がん相談支援・情報センターを設置しています。専任の看護師や医療ソーシャルワーカーが皆様のお話を伺い、問題解決のお手伝いをさせていただきます。どうぞお気軽にご相談ください。



菊内 由貴 (がん看護専門看護師)  
亀島貴久子 (副看護師長)  
船田 千秋 (副看護師長)  
関木 裕美 (医療ソーシャルワーカー)

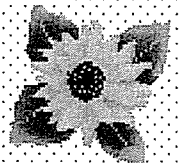
○受付時間 8:30~16:30 (土日・祝日を除く)  
○場所 2階 がん相談支援・情報センター  
○相談方法 来訪による対面相談 (面談室での相談)  
電話相談 089-999-1114 (直通ダイヤル)

## 名刺

面談対応、退院調整を行った患者・家族の方にお渡ししています。

## がん患者相談支援

### ・情報センター



○菊内 由貴 がん看護専門看護師  
○亀島貴久子 副看護師長  
○船田 千秋 副看護師長  
○関木 裕美 医療ソーシャルワーカー

お気軽にご相談ください

# 相談対応

相談対応用紙を利用して対応した内容、対応数等を追跡しています。

医療相談：当相談支援センタースタッフが対応した電話相談または面談相談。

よろず相談：医療福祉相談員が行う医療福祉制度を活用した経済的な支援のための相談

\* 調査方法が暫定的なため、関係数値に相違にあり。

## 対応内容、利用者別推移

内容	7月		8月		9月	
	院内	院外	院内	院外	院内	院外
1. 検診	31	77	13	87	11	73
2. 告知後～受診	41	146	32	146	26	127
3・ホスピス、緩和ケアについて	5	4	4	32	5	8
4. セカンドオピニオン	3	46	3	10	0	31
5. 医療相談	54	52	56	61	68	83
6. 医療連携	7	7	3	0	5	3
院内・院外合計	141	332	111	336	115	325
月合計	473		447		440	

## 医療相談

\* 相談内容を効率的に情報化するための記載シートを検討中。

この形式での集計は7月～9月の3ヶ月分。

\* 10月以降は改訂版を使用中。

## 対応方法別推移

### 医療相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話対応	156	162	322	377	408	374	414	335	306	239	247		3340
一日平均	7.8	8.5	14.64	17.14	17.74	18.7	19.71	16.75	15.3	12.58	13		
面談対応	39	32	52	58	48	67	53	53	53	62	57		574
一日平均	1.95	1.7	2.36	2.63	2.087	18.7	2.54	2.65	2.65	3.263	3		

# よろず相談

## 具体的なよろず相談の内容

- 高額療養費の手続き方法
- いくら以上支払えば高額療養費の手続きができるか？
- 年度末の還付申請について
- おむつ代の支給はあるか？
- 手術費、放射線治療費、抗がん剤の薬代などいくらかかるか？

- 部屋代は戻ってくるか？
- 医療費の支払いで困っているがどうしたらいいか……
- 生活保護を受けるには……
- 障害年金について知りたい
- 身体障害者手帳の申請ができるか？
- 傷病手当について
- 特定疾患の手続きについて
- アスベストによる肺がんの労災認定について
- 生命保険の診断書の書き方



	高額医療費	医療費控除	治療費	生活保護	障害年金	身体障害者手帳	傷病手当	アスベスト	特定疾患	その他	面談	電話
4月	16	0	7	0	9	1	2	2	0	24		
5月	14	1	5	1	3	2	0	1	3	13	30	3
6月	31	3	5	1	5	6	0	5	0	23	64	8
7月	20	2	7	1	7	2	2	1	5	20	56	10
8月	28	2	12		4	3	2	2	1	19	60	6
9月	18	4	12	2	7	6	2	0	0	22	47	9
10月	32	0	10	7	11	5	5	8	3	3	77	6
11月	43	5	7	1	3	7	1	2	1	14	69	2
12月	42	10	9		4	4	2	1	1	12	63	5
1月	45	6	9	1	1	2	4	0	2	2	63	2
2月												
3月												
合計	289	33	83	14	54	38	20	22	16	152	529	51

医療相談記入シート

フォーマットV

1.受付日	2007年	月	日	午前・午後	時	分	相談時間:	分
2.対応方法	1) 面談 2) 電話 <input type="checkbox"/> 外線 <input type="checkbox"/> 直通 (できれば、7.1)の項目を確認)							
3.相談者	<input type="checkbox"/> 不明	1) 氏名		2) 年齢	才	3) 性別・男・女		
4.相談者のカテゴリ	<input type="checkbox"/> 不明	1) 本人 2) 家族 ( ) 3) 友人 4) 一般				患者の居住地域		
		5) 医療関係者 ( )				( )		
患者自身の状況	当院の受診歴	<input type="checkbox"/> 不明	1) なし 2) あり ⇒ 入院中・外来通院中					
	がんの種類	<input type="checkbox"/> 不明	1) 脳・神経・目 2) 頭頸部 3) 乳がん 4) 肺がん 5) 胃がん 6) 大腸がん 7) 肝がん 8) 子宮・卵巣がん 9) 膀胱・腎がん 10) 血液・リンパ 11) 小児がん 12) その他 ( ) 13) 前立腺がん 14) 食道がん 15) すい臓がん 16) 胆嚢・胆管がん					
	治療状況	<input type="checkbox"/> 不明	1) 治療前 2) 治療中 3) 経過観察中 ⇒ ・初発・再発・転移・緩和ケア					
	症状の有無	<input type="checkbox"/> 不明	1) なし 2) あり ( )					
5.利用回数	<input type="checkbox"/> 不明	1) 初めて 2) 2回目以上						

6.相談内容	事務的相談		心理的相談	<内容詳細>記載できない場合裏面を活用ください。  相談者の反応(言葉を記載) ( )  <対応> <input type="checkbox"/> 語りの促進 <input type="checkbox"/> 傾聴  <input type="checkbox"/> FAX紹介・直接受診説明 <input type="checkbox"/> 他部門へ連携 <input type="checkbox"/> 予約コーナーを案内 <input type="checkbox"/> 情報提供
	<input type="checkbox"/> 2次検診を受ける方法	<input type="checkbox"/> 検診を希望して受ける方法	<input type="checkbox"/> がん検診	
	<input type="checkbox"/> ドックを受ける方法	<input type="checkbox"/> PETを受ける方法	<input type="checkbox"/> 告知	
	<input type="checkbox"/> 受診の方法	<input type="checkbox"/> 予約の方法	<input type="checkbox"/> がんの治療	
	<input type="checkbox"/> 緩和ケアへの入院の方法	<input type="checkbox"/> セカンドオピニオン受診の方法	<input type="checkbox"/> がんの検査	
	<input type="checkbox"/> セカンドオピニオン受診の方法	<input type="checkbox"/> 当院へのアクセスの方法	<input type="checkbox"/> 受診科	
	<input type="checkbox"/> 診療科の案内	<input type="checkbox"/> 診療科の案内	<input type="checkbox"/> ホスピス	
	<input type="checkbox"/> 担当医の案内	<input type="checkbox"/> 転医・転院の方法	<input type="checkbox"/> 緩和ケア	
	<input type="checkbox"/> 転医・転院の方法	<input type="checkbox"/> パンフレット・カタログ持ち帰り	<input type="checkbox"/> セカンドオピニオン	
	<input type="checkbox"/> パンフレット・カタログ持ち帰り	<input type="checkbox"/> FAX紹介	<input type="checkbox"/> 在宅医療	
<input type="checkbox"/> FAX紹介	<input type="checkbox"/> 逆紹介	<input type="checkbox"/> 転医・転院		
<input type="checkbox"/> 逆紹介	<input type="checkbox"/> そのほか	<input type="checkbox"/> 入院・入院生活		
<input type="checkbox"/> そのほか	<input type="checkbox"/> 医療者からのコンサルテーション	<input type="checkbox"/> 日常生活		
<input type="checkbox"/> 医療者からのコンサルテーション		<input type="checkbox"/> 症状		
		<input type="checkbox"/> 副作用		
		<input type="checkbox"/> 医師との関係		
		<input type="checkbox"/> そのほか		

7.相談支援センター、相談内容に対する感想(評価)

1) この相談支援センターをどのように知りましたか。  
 (1) この病院の医療スタッフから説明を受けた (2) パンフレットをみた (3) 家族・友人・知人から聞いた  
 (4) インターネットで見つけた (5) その他 ( )

2) 今回お話し頂いた内容は、あなたの役に立ちましたか。  
 (1) はい (2) いいえ (3) どちらともいえない

3) その他に、今後の活動について何か要望がございましたらお聞かせください。  
 ( )

# フォーマットV 記載のルール

★医療相談は、相談に対応するスタッフの経験、知識により対応の方法（シートへの記載方法）が異なることが予想されます。半年間シートを改善・検討した結果「6、相談内容」のチェック項目分類し、フォーマットIVから記載のルールを決めて違運用しています。

医療相談記入シート (フォーマットV)		該当する項目に○をつける。直通番号の場合は、何で支援センターを知ったか確認。																																								
1. 受付日時	2007年 月 日 午前・午後 時 分 相談時間																																									
2. 対応方法	1) 面談 2) 電話 <input type="checkbox"/> 外線 <input type="checkbox"/> 直通 (できれば、7.1)の項目を確認)	⇒今後の情報提供を考える上での重要なデータ																																								
3. 相談者	<input type="checkbox"/> 不明 1) 氏名 2) 年齢 才 3) 性別 男・女																																									
4. 相談者のカテゴリ	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> その他 <small>不明の定義＝意図的情報収集をしなかった場合。(話の内容から「わからなかった」場合)</small> <small>患者の居住地域</small>	話の中心にいる「患者」の住んでいる地域。相談者の居住地域ではない。 ⇒今後の地域連携強化を検討するためのデータとなる。																																								
患者自身の状況	当院の受診歴 <input type="checkbox"/> 不明 1) なし 2) あり ⇒ 入院中・外来通院中 ⇒ 当院患者か、一般からの患者かの別を分ける項目																																									
	がんの種類 <input type="checkbox"/> 不明 <small>1) 脳・神経 2) 肺 3) 大腸 4) 胃 5) 膵臓 6) 肝臓 7) 小児がん 8) その他</small> <small>話の中心にいる「患者」の状況についてチェックする。</small>																																									
	治療状況 <input type="checkbox"/> 不明 1) 治療前 2) 治療中 3) 経過観察中 ⇒ 初発/再発/転移/緩和ケア ⇒ 項目の中に症例区分?と病期?が混在している。																																									
	症状の有無 <input type="checkbox"/> 不明 1) なし 2) あり ( )																																									
5. 利用回数	<input type="checkbox"/> 不明 1) 初めて 2) 2回目以上																																									
6. 相談内容	<table border="1"> <tr> <th>事務的相談</th> <th>心理的相談</th> <th>&lt;内容詳細&gt; 記載できない場合裏面を活用ください。</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 2次検診を受ける方法</td> <td><input type="checkbox"/> がん検診</td> <td rowspan="10">                     複数チェックした場合、相談者の第一声(話の入り口)の項目には○をつける。                      対応によって話が展開して言った場合、対応の「情報提供」にチェックをつけ、出来れば何の情報提供をしたか記載する。                       相談者の反応(言葉を記載)                      ( )                       &lt;対応&gt; <input type="checkbox"/> 語りの促進 <input type="checkbox"/> 傾聴 ⇒特に深刻な相談について、援助技術を用いて意図的介入を行った場合にチェック。                 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 検診を希望して受ける方法</td> <td><input type="checkbox"/> 告知</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ドックを受ける方法</td> <td><input type="checkbox"/> がんの治療</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> PETを受ける方法</td> <td><input type="checkbox"/> がんの検査</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 受診の方法</td> <td><input type="checkbox"/> 受診科</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 予約の方法</td> <td><input type="checkbox"/> ホスピス</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 緩和ケアへの入院の方法</td> <td><input type="checkbox"/> 緩和ケア</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> セカンドオピニオン受診の方法</td> <td><input type="checkbox"/> セカンドオピニオン</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 当院へのアクセスの方法</td> <td><input type="checkbox"/> 在宅医療</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 診療科の案内</td> <td><input type="checkbox"/> 転医・転院</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 担当医の案内</td> <td><input type="checkbox"/> 入院・入院生活</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 転医・転院の方法</td> <td><input type="checkbox"/> 日常生活</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> パンフレット・カタログ持ち帰り</td> <td><input type="checkbox"/> 症状</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> FAX紹介</td> <td><input type="checkbox"/> 副作用</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 逆紹介</td> <td><input type="checkbox"/> 医師との関係</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> そのほか</td> <td><input type="checkbox"/> そのほか</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 医療者からのコンサルテーション</td> <td><input type="checkbox"/> FAX紹介・直接受診説明 <input type="checkbox"/> 他部門へ連携</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 予約コーナーを案内 <input type="checkbox"/> 情報提供</td> </tr> </table>	事務的相談	心理的相談	<内容詳細> 記載できない場合裏面を活用ください。	<input type="checkbox"/> 2次検診を受ける方法	<input type="checkbox"/> がん検診	複数チェックした場合、相談者の第一声(話の入り口)の項目には○をつける。 対応によって話が展開して言った場合、対応の「情報提供」にチェックをつけ、出来れば何の情報提供をしたか記載する。  相談者の反応(言葉を記載) ( )  <対応> <input type="checkbox"/> 語りの促進 <input type="checkbox"/> 傾聴 ⇒特に深刻な相談について、援助技術を用いて意図的介入を行った場合にチェック。	<input type="checkbox"/> 検診を希望して受ける方法	<input type="checkbox"/> 告知	<input type="checkbox"/> ドックを受ける方法	<input type="checkbox"/> がんの治療	<input type="checkbox"/> PETを受ける方法	<input type="checkbox"/> がんの検査	<input type="checkbox"/> 受診の方法	<input type="checkbox"/> 受診科	<input type="checkbox"/> 予約の方法	<input type="checkbox"/> ホスピス	<input type="checkbox"/> 緩和ケアへの入院の方法	<input type="checkbox"/> 緩和ケア	<input type="checkbox"/> セカンドオピニオン受診の方法	<input type="checkbox"/> セカンドオピニオン	<input type="checkbox"/> 当院へのアクセスの方法	<input type="checkbox"/> 在宅医療	<input type="checkbox"/> 診療科の案内	<input type="checkbox"/> 転医・転院	<input type="checkbox"/> 担当医の案内	<input type="checkbox"/> 入院・入院生活	<input type="checkbox"/> 転医・転院の方法	<input type="checkbox"/> 日常生活	<input type="checkbox"/> パンフレット・カタログ持ち帰り	<input type="checkbox"/> 症状	<input type="checkbox"/> FAX紹介	<input type="checkbox"/> 副作用	<input type="checkbox"/> 逆紹介	<input type="checkbox"/> 医師との関係	<input type="checkbox"/> そのほか	<input type="checkbox"/> そのほか	<input type="checkbox"/> 医療者からのコンサルテーション	<input type="checkbox"/> FAX紹介・直接受診説明 <input type="checkbox"/> 他部門へ連携		<input type="checkbox"/> 予約コーナーを案内 <input type="checkbox"/> 情報提供	
	事務的相談	心理的相談	<内容詳細> 記載できない場合裏面を活用ください。																																							
	<input type="checkbox"/> 2次検診を受ける方法	<input type="checkbox"/> がん検診	複数チェックした場合、相談者の第一声(話の入り口)の項目には○をつける。 対応によって話が展開して言った場合、対応の「情報提供」にチェックをつけ、出来れば何の情報提供をしたか記載する。  相談者の反応(言葉を記載) ( )  <対応> <input type="checkbox"/> 語りの促進 <input type="checkbox"/> 傾聴 ⇒特に深刻な相談について、援助技術を用いて意図的介入を行った場合にチェック。																																							
	<input type="checkbox"/> 検診を希望して受ける方法	<input type="checkbox"/> 告知																																								
	<input type="checkbox"/> ドックを受ける方法	<input type="checkbox"/> がんの治療																																								
	<input type="checkbox"/> PETを受ける方法	<input type="checkbox"/> がんの検査																																								
	<input type="checkbox"/> 受診の方法	<input type="checkbox"/> 受診科																																								
	<input type="checkbox"/> 予約の方法	<input type="checkbox"/> ホスピス																																								
	<input type="checkbox"/> 緩和ケアへの入院の方法	<input type="checkbox"/> 緩和ケア																																								
	<input type="checkbox"/> セカンドオピニオン受診の方法	<input type="checkbox"/> セカンドオピニオン																																								
<input type="checkbox"/> 当院へのアクセスの方法	<input type="checkbox"/> 在宅医療																																									
<input type="checkbox"/> 診療科の案内	<input type="checkbox"/> 転医・転院																																									
<input type="checkbox"/> 担当医の案内	<input type="checkbox"/> 入院・入院生活																																									
<input type="checkbox"/> 転医・転院の方法	<input type="checkbox"/> 日常生活																																									
<input type="checkbox"/> パンフレット・カタログ持ち帰り	<input type="checkbox"/> 症状																																									
<input type="checkbox"/> FAX紹介	<input type="checkbox"/> 副作用																																									
<input type="checkbox"/> 逆紹介	<input type="checkbox"/> 医師との関係																																									
<input type="checkbox"/> そのほか	<input type="checkbox"/> そのほか																																									
<input type="checkbox"/> 医療者からのコンサルテーション	<input type="checkbox"/> FAX紹介・直接受診説明 <input type="checkbox"/> 他部門へ連携																																									
	<input type="checkbox"/> 予約コーナーを案内 <input type="checkbox"/> 情報提供																																									
7. 相談支援センター、相談内容に対する感想(評価)																																										
1) この相談支援センターをどのように知りましたか。 (1) この病院の医療スタッフから説明を受けた (2) パンフレットをみた (3) 家族・友人・知人から聞いた (4) インターネットで見つけた (5) その他 ( ) 2) 今回お話し頂いた内容は、あなたの役に立ちましたか。 (1) はい (2) いいえ (3) どちらともいえない 3) その他に、今後の活動について何か要望がございましたらお聞かせください。 ( )																																										

・不明の定義＞意図的情報収集をしなかった。話の内容から「わからなかった」場合。  
 例：治療状況、症状の有無⇒情報は検診希望のみ⇒「不明」で処理

## シート分析の

### ・項目の優先順位

- > 外線・直通・・・チェックなしの場合は外線にチェック
- > 事務的・心理的対応、両方にチェックがある場合は心理的対応を優先する
- > 項目の優先順位は上段から(項目の優位性は今後詳細に検討)
- > 相談者のカテゴリは左側から優位

# 医療連携

## 詳細

Fax紹介(診療科別)

19.1.31現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
消内	42	35	53	46	52	42	54	51	53	53			481
呼内	34	28	28	48	40	29	27	28	24	24			310
血液腫瘍科	1	1	3	3	5	5	9	2	8	4			41
消外	24	29	22	36	31	38	33	42	34	30			319
呼外	6	10	6	12	11	12	13	7	3	5			85
乳腺外科	36	51	50	42	66	57	48	47	55	40			492
泌尿器科	18	20	21	15	27	28	27	24	17	17			214
婦人科	39	37	60	32	43	44	62	50	50	47			464
頭頸科	12	23	20	21	14	20	20	10	16	15			171
形成外科	4	2	1	3	9	4	3	4	2	2			34
リンパ浮腫外来	2	1	0	1	1	0	3	1	0	1			10
緩和ケア外来	1	4	4	4	3	4	2	1	2	3			28
放射線科	1	1	0	0	0	2	2	0	2	0			8
検査	27	37	41	49	45	47	50	44	45	63			448
合計	247	279	309	312	347	332	353	311	311	304	0	0	3105
平均/日	12.4	14.0	14.1	14.2	15.1	16.6	16.8	15.6	16.4	16.0			151.2

紹介実績(診療科別) 紹介状直接持参・健診紹介

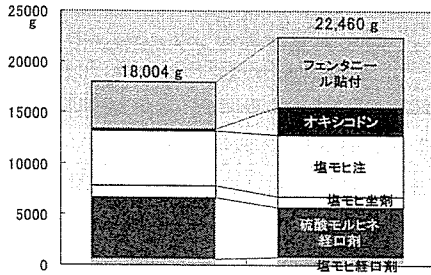
直:直接持参 健:健診紹介

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	直	26	14	44	42	84	45	62	63	46	18			444
	健	4	2	38	38	76	42	61	59	46	16			382
内科	直	47	42	32	12	40	10	11	9	7	2			212
	健	10	3	18	5	35	5	10	7	4	1			98
婦人科	直	12	9	17	17	29	26	21	14	15	17			177
	健	2	1	5	6	11	7	6	4	3	2			47
泌尿器科	直	20	13	14	16	29	21	29	23	18	5			188
	健	1	1	2	4	12	6	12	11	7	1			57
形成外科	直	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0			3
	健	/	/	/	/	/	/	/	0	/	/			0
リンパ浮腫外来	直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	健	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			0
頭頸科	直	9	15	8	7	8	13	7	10	4	10			91
	健	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0			2
緩和ケア	直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	健	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			0
合計		134	100	179	147	324	175	219	201	150	72	0	0	



## 地域における緩和ケア指標の動向

愛媛県におけるオピオイド出荷量の推移(経口モルヒネ換算)

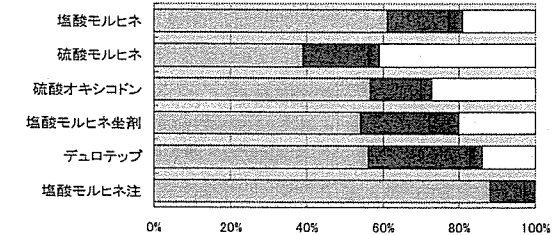


H15年度 オピオイド出荷量は増えており、緩和ケア対応は伸びていると推測される

## 施設別麻薬消費の比率

～経口モルヒネ換算～

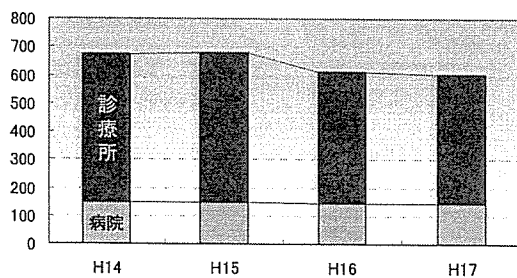
□ 病院(200床以上) ■ 病院(200床未満) ▨ 診療所 □ 調剤薬局



数で90%を占める診療所からの麻薬処方量がきわめて少ない

(平成16年:愛媛県麻薬協会)

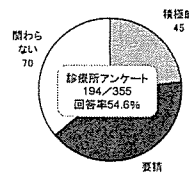
## 麻薬取り扱い許可を得ている医療機関数



診療所の麻薬取り扱いが減少  
「麻薬を保管する予定のない診療施設は麻薬保管庫の設置を要さない」など運用管理に関する通知(H18/12)の周知が必要

## 在宅患者への姿勢(診療所、病院)

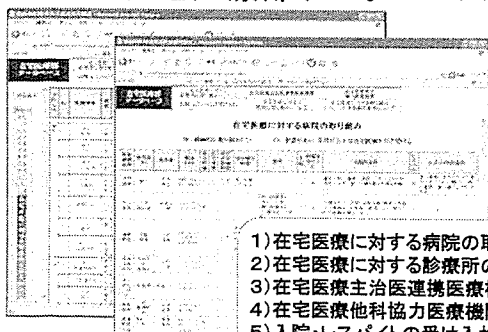
松山市医師会在宅医療検討委員会調査  
平成16年10月、12月実施



在宅患者を支える医療機関のリスト

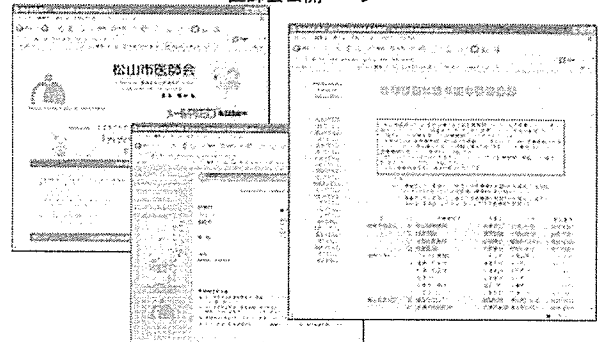
- 対応可能内容、条件
  - 在宅主治医として支えるか、連携医、協力医として支えるか
  - 訪問診療の距離、曜日、時間帯
  - 入院の受け入れは可能か、その条件は
- 印刷冊子として配布
- ネットワーク上で共有

## 在宅医療部データベース

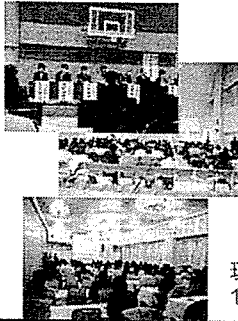


## 在宅医療に取り組む医療機関

医師会公開ページ



**委員会、定期講習会、研究会**  
在宅がん患者対応のレベルアップ、均てん化



- 地域医師会内の委員会
- 在宅医療検討委員会
- 病診連携委員会
- 定期講習会
- 在宅医療懇話会: 3回/年
- 在宅医の会: 3回/年
- 愛媛がん性疼痛研究会: 2回/年
- 心豊かな生と死を考える会: 6回/年

現在は医師の参加がまだ少ない  
100-150人の参加者中医師は約30人

**医療機関の診療機能情報(今後)**

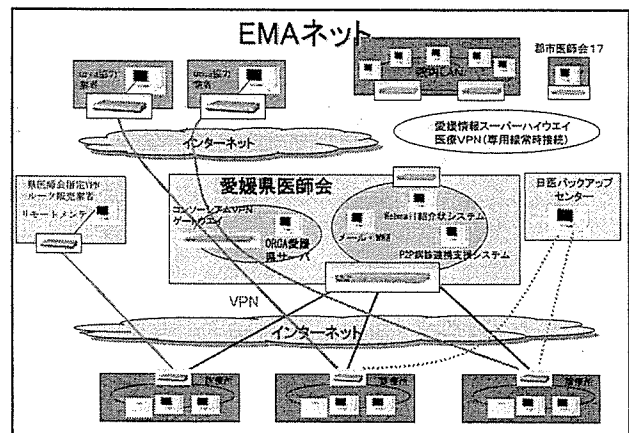
- ・ がん診療連携拠点病院のがん診療機能情報  
がん対策情報センターからHP公開  
<http://ganjoho.ncc.go.jp/base/index.html>
- ・ それ以外の(全医療機関の)診療機能情報  
都道府県からHP公開  
医療情報の提供のあり方等に関する検討  
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2006/09/s0922-8.html>



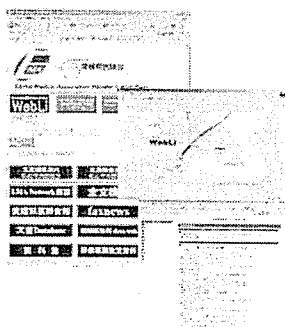
- 医療機関の情報公開に関する責務は
1. 国がん、都道府県が行う調査への協力
  2. 自院情報のHP公開

**愛媛県医師会のネットワーク**

- A. ブロードバンド、インターネットVPN対応
- B. 役に立つネットサービス:
  - a) ホームページ情報、プロバイダ、ハウジングサービス
  - b) 紹介状システム、医師や医療機関のデータベース
- C. ORCA(日本医師会標準レセプトソフト)推進
- D. 安全性と安定稼働に向けた運用体制
- E. 稼働状況: すべての郡市医師会と救急医療基幹施設、診療所の300施設が常時接続、500施設以上がEMAネットに参加、ユーザ数1200名以上。



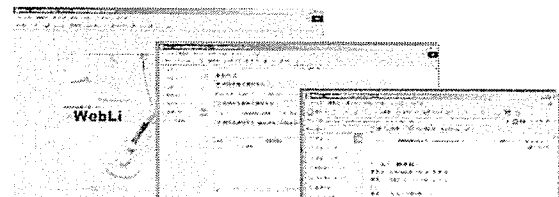
**患者支援の基盤: 医療イントラネット**



- メールアドレスの発行・管理
- メーリングリストの運営
- WebMail紹介状
- 医師、医療機関情報検索
- 講習会スケジュール
- 資料データベース化

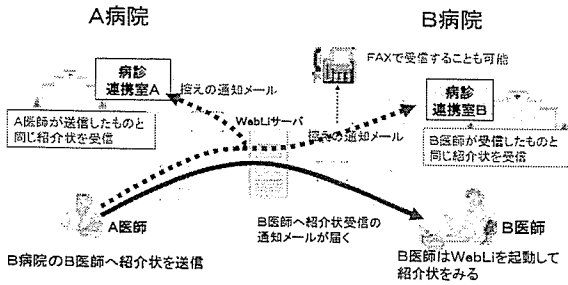
**WebMail紹介状システムの導入**

Fax紹介状に代わるネットワークによる患者紹介状システム



- ・ 安全: 閉じられたネットワーク内で暗号化通信
- ・ 簡単: 定型フォームの穴埋めで完成
- ・ 親切: 普段使うメールへ着信の通知
- ・ 確実: 各医療連携室が主治医の代行もできる

## 医療連携室に控えが自動転送される



## WebLiと一般のメールの比較

WebLi	一般のメール
WebLi登録済み送信先を選択して送信。	アドレス直接入力は送信エラーの元。
入力フォーマットを埋めれば完成。	項目をテキスト入力(入力の手間/入力もれ)。
送信先の開封状況、開封日時がわかる。	開封通知は受信者の意思に依存する。
書類、ファイルはサーバに残る。	書類、ファイルは個人の管理。
プラットフォームに依存しない。	プラットフォームに依存する。
外部に漏れる危険性は低い。	情報漏洩の危険性がある。
スパムメールやウイルスは来ない。	スパムメールやウイルス付きメールが来る。
県医師会に申請する必要がある。	どこのアドレスでも使用可能。

## Fax紹介状の危険(個人情報保護の観点から)

1. Faxは送信エラーが起こりうる、閲覧者の特定は不可能。
2. WebLiは仕組み、運用規約、管理の面から安全である。

愛媛県医師会報平成17年10月号付録

愛媛県医師会報

WebMail講習会

新VPN接続ソフトのご案内

Webmail紹介状システム「WebLi」について

愛媛県医師会報バックナンバー 平成16年4月号～

### 医師会のイントラネット 月例スケジュール

#### 会員へのメール連絡

## 愛媛県医師会の情報化スタンス

1. 個性の尊重  
医療機関におけるIT化はそれぞれの事情や実力に応じた個性的なIT化となる。愛媛県医師会のEMAネットは、各医療機関の個性を尊重し、画一的な導入を求めない。
2. ネットワーク基盤とサービスの提供  
情報の交換を容易かつ安全に行える基盤と医師会員に有用なサービスを提供する。
3. 利用者への安心で安全な医療情報提供  
医師会を核とする堅実でバランスの取れた地域医療情報化こそが、一般利用者に対する安心で安全な医療情報提供となりえる。

## がん診療連携拠点病院における「相談支援センター」の役割と機能

NHO 四国がんセンター 谷水 正人



## 日本の医療は世界一

・・・しかし患者の満足度は高くない

日本の医療と外国の医療の比較

国	経済発展度			医療従事者の数		
	1位	3位	4位	1位	3位	4位
日本	1位	3位	4位	1位	3位	4位
オーストラリア	2位	4位	5位	2位	4位	5位
フランス	3位	5位	6位	3位	5位	6位
ドイツ	4位	6位	7位	4位	6位	7位
イタリア	5位	7位	8位	5位	7位	8位
韓国	6位	8位	9位	6位	8位	9位
米国	7位	9位	10位	7位	9位	10位

国民が自国の医療をどう評価しているか( OECD 2003年調査): 日本は18か国中17位(下から2番目)。平均点が73点、1位のアメリカは89点、日本は41点

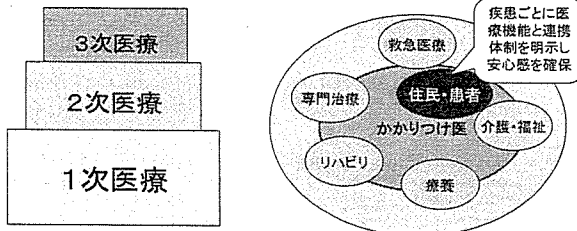
日本の医療システムは量的充足を第一義として来たため、患者の気持ちを満足させられていない。「納得できる医療を受けたい」という患者の気持ちに答えられることこそ重要。

渡辺信夫 グローバルスタンダードから見た日本の医療 2005/7/14 放送 総合メディカルマネジメント [http://medical.radionikkei.jp/sogo\\_medical/bangumi.html](http://medical.radionikkei.jp/sogo_medical/bangumi.html)

## 「平成18年の医療制度改革を念頭においた医療計画制度の見直しの方向性」

階層型構造の医療提供体制から 住民・患者の視点に立った医療連携体制への転換

【これまでの医療計画の考え方】 → 【新しい医療計画の考え方】



<http://www.mhfw.go.jp/shingi/2005/07/s0711-7b.html>の図を改変

## 現在の医療計画制度の問題点

## 新たな医療計画制度での医療連携体制の考え方

- (1) 患者の実際の受療行動に着目するのではなく、医療提供サイドの視点で構想。
- (2) 地域の疾病動向を勘案しない量的な視点を中心に構想。
- (3) 地域の医療機関が担える機能に関係なく、結果として大病院を重視することとなる階層型構造を念頭に構想。

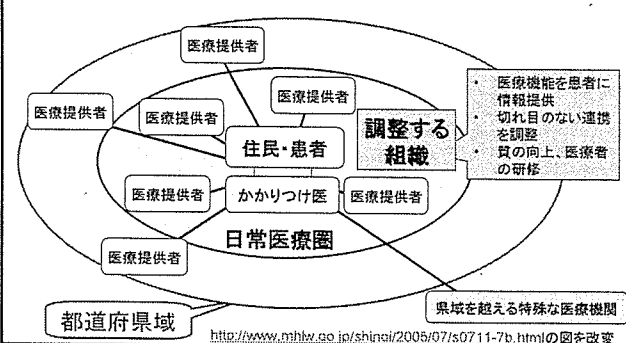
- (1) 患者を中心とした医療連携体制を構想。
- (2) 主要な事業ごとに柔軟な医療連携体制を構想。
- (3) 病院の規模でなく医療機能を重視した医療連携体制を構想。

<http://www.mhfw.go.jp/shingi/2005/07/s0711-7b.html>

- ・ 本来必要のない患者までが大病院に集中
  - ・ 外来の長い待ち時間、説明不足という不満、不信
  - ・ 病院医師の負担増、疲弊
- 患者、医療者双方にストレスが増幅されていた

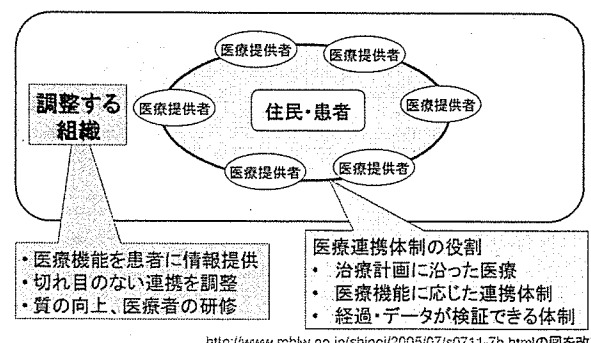
## 地域の医療連携体制のイメージ

～「医療機関完結型医療」から「地域完結型医療」へ～



<http://www.mhfw.go.jp/shingi/2005/07/s0711-7b.html>の図を改変

## 医療連携体制とそれを調整する組織が地域において構築する質の高い効率的な医療提供体制



<http://www.mhfw.go.jp/shingi/2005/07/s0711-7b.html>の図を改変